

「秋田100人よさこいプロジェクト」

【1】主旨

秋田県内にはたくさんのよさこいチームが存在し、たくさんの踊り子があります。

現役の踊り子だけでなく、チームを事情で退会した方や、学校やサークル活動でよさこいを経験したけれどチームになかなか入る機会がない方もいらっしゃると思います。

よさこいは1人では出来ません。多くの仲間と1つの演舞を目指す中で、練習や日々の活動の中で新しいつながりができ、その新たな仲間と演舞後の達成感を共感したい。ですが、秋田県内では、一般チームの多くは20～30人程度の規模が多く、より多くの踊り子と1つの作品を作り上げる経験をすることがなかなか難しい状況です。

今回はヤートセ秋田祭の記念すべき20回の開催に合わせて、これまで秋田になかったような「大規模なチーム演舞」を行いたいと考え、このプロジェクトを立ち上げました。

総踊り（フリーダンス）ではなく、その1つの演舞のために事前の様々な準備（衣装や振り付け、曲）をすることで1つのチームとして演舞を行うことにも意義があると考えます。

この場を、他チームの踊り子と一緒に演舞をする機会として、よさこいを始めたいけれど迷っている方の踊りのはじめのきっかけや、引退した方の活動再開のきっかけにしてもらいたい。この活動を通じてまたたくさんのお楽しみを共感したいと考えています。

「秋田代表」とまで大それたことは言えませんが、「オール秋田」のチームの活動にぜひご参加ください。

秋田100人よさこいプロジェクト

<実行委員会メンバー>

- ・ 実行委員長： 佐藤直子<なお>(紅翔蘭舞會 代表)
- ・ 副実行委員長： 菊地和男<大将>(TEAM SAKURA 代表)
- ・ 実行委員： 黒政薫<うどん> (苺色の一會代表)
吉田望<のんちゃん> (チームわけもん副会長)
秋山たず子<たず>
- ・ オブザーバー： 樋田芳速<ヤン> (ヤートセ秋田祭実行委員会会長)

【2】具体的な内容

(1) 概要

2017年6月24日(土)～25日(日)に開催予定の「第20回ヤートセ秋田祭」に、100人規模のチーム編成でのチーム演舞を披露します。(そして、それを第20回を目玉企画と位置付けます)

ご自身が所属するチームとの掛け持ちは可能です。

ヤートセ秋田祭当日にこの「100人規模」チームに参加することで、自チームの演舞には参加できなくなるわけではありません。自チームと掛け持ちで参加できるように、ヤートセ秋田祭実行委員会と調整致します。

(2) 演舞の在り方

あくまでオリジナル曲とオリジナル振付での演舞です。

既に曲と振付、衣装等はまさに秋田らしい深みがある楽曲/振付となりましたが、「第20回ヤートセ秋田祭当日までのお楽しみ」として関係者以外に対しては非公開にしています。

「総踊りではなくチーム演舞」にこだわりたいので、皆が同じ振付を踊るのではなく、パート分け等も含めた見ごたえのある「100人という大規模のチーム演舞」となります。

(3) チーム名

プロジェクト名は「秋田100人よさこいプロジェクト」ですが、それと別にチーム名を決めました。

チーム名は「秋田かだれ会」です。

「かだれ」は、「仲間になろう」とか「この輪に入っておいで」といった意味合いの秋田弁です。

その言葉の意味と響きが「秋田100人よさこいプロジェクト」の主旨に合っている事から決定しました。

(4) スケジュール概要

2016年10月22日：説明会

10月23日：説明会資料の内容をホームページに公開

参加申込み受付開始

11月15日：参加申込み締め切り

12月末：曲作成完了予定

2017年02月末：振付完了予定

03月半ば：振り下ろし準備完了

振付映像作成+展開

振り降ろし/練習開始

06月24-25日：第20回 ヤートセ秋田祭

(5) 参加者

参加者は全て「秋田」ゆかりの人達です。

(秋田県在住者、秋田県出身者、秋田県のよさこいチーム所属経験者等)

さらに、おそらく全国にも例の無い「下は8才のお子様から、上はなんと80代の人生の先輩の皆様」と、年齢幅のとても広いチームとなりました。

(6) チームの運営について

チームメンバーが各地に分かれて存在する状態ですので、実行委員会メンバー以外に各地の「エリアまとめ者」やそれをサポートするスタッフがいます。

振り降ろしや練習のスケジュールは随時展開中です。

本番までの間に、2～4回ほどの「合同練習会」を開催する予定です。

この「合同練習会」には、秋田県外から出場する方であっても、最低1回は参加して頂いています。

(7) 将来的な事に関して

このプロジェクトは「第20回ヤートセ秋田祭」を盛り上げる為の目玉企画としての「大人数規模の演舞」ですので、それ以降の活動に関しては具体的な予定はありません。

あくまでも「第20回」を迎えるヤートセ秋田祭を盛り上げる為の企画です。

ただ、大人数規模の演舞を経験した後、皆様の中から「継続したい」「たまにはまたやりたい」「他の会場でも演舞したい」等といった声が上がった場合、将来的な継続（断続的な継続も含めて）も視野には入れています。

問い合わせ先

秋田100人よさこいプロジェクト実行委員会

akita100nin@gmail.com